

介護保険住宅改修「実態に即してできる、現場で対応してほしい」 大分川ダム建設「事業の凍結はないと思う…」(中央各省・課長補佐など)

11月18日、市議団は、後述の課題で、中央省庁の考えを調査しました。その要旨をお知らせします。



【介護保険】

[問]入所待機者を解消するための施設建設の促進などについて

[答]第5期以後の計画で実施のため自治体の要求を調査中である。

[問]居宅介護住宅改修費等の住宅改修の規定項目の緩和について

[答]手すり設置、ドア改修などで、実態に即して対応できる、現場で対応してほしい。

【大友氏館について】

[問]事業中止や規模縮小、隣接地への転居希望への対応、大分駅高架下の駐車場使用について

[答]計画の変更はしない、高架下の利用は検討する。

【大分川ダムと国道442号】

[問]ダム建設の今後の計画について

[答]事業の凍結はないと思う。

[問]国道442号の改良について

[答]県の事業であり、推進に必要な補助はする。

【下水道普及】

[問]普及率向上のため補助率引上げ

[答]補助対象施設の拡大などで、普及率をあげることをすすめてきた。引き続き検討する。

【国道10号拡幅】

[問]旦野原・中判田間の拡幅計画

[答]渋滞など、問題があると認識している。「新規事業はおこなわない」という政府方針もある。

【関アジ・関サバ】

[問]漁獲量激減の原因究明、漁獲量を増やす対策について

[答]全体としてアジは減っていないが、サバは減っている。要望については受けとめる。

(詳細はご連絡ください)

こんにちは日本共産党大分市議団です
速報No. 2 2009. 12. 1

大分市荷揚町2-31市議会控室
TEL 537-5695 FAX 537-5791
ホームページ <http://www.jcp-oitasigidan.com/>
E-mail occ-jcp@oct-net.ne.jp